

「建設DX事例集」の検索エンジンの紹介

索

一般社団法人日本建設業連合会（以下、日建連）公共生産委員会（旧・インフラ再生委員会）では、会員企業が保有する技術やノウハウを広く全国に普及させ、活用することを目的に、二〇二三年三月に「建設DX事例集」を作成しました。二〇二四年三月には改訂すると同時に、新たに検索エンジン

検索結果は一〇技術ごとにリストとして出力されます。リスト上の各技術のタイトルをクリックすると、その技術・工法の技術情報シートが表示され個々の技術・工法の概要・特徴などが閲覧できます。

この検索エンジンは、日建連加盟各社のDXに関する新技術・新工法を日建連のホームページ上で簡単に検索できます。検索方法は以下の二種類から選択可能です。

①関連する単語を直接入力する「キーワード検索」

②工事区分や工種といった技術情報項目を選択する「項目検索

公共生産委員会では、今後ともICTやBIM／CIMを活用したDXを中心に、iConstructionの推進、新技術の現場実装など生産性向上に向けた活動を、国や地方自治体、関係する機関・団体などとも幅広く連携し、ハード、ソフトの両面から積極的に取り組んでまいります。

計画立案時の工法比較や施工時の対策立案などいろいろな場面で活用していただければ幸いです。

①日建連ホームページトップ画面



②検索条件入力



③検索結果リスト



技術情報シート

清水建設株式会社

シリアルNO. 231404

3 眼カメラ配筋検査システム 「写らく」

取り組み事例分類	建設・土木	建設・土木	建設・土木	建設・土木
適用施工プロセス	基礎	基礎	基礎	基礎
発注者の採用効果	品質向上	作業時間短縮	普及効果	PR効果
受注者の採用効果	品質向上	作業時間短縮	普及効果	PR効果

現場でらくらく配筋検査。わずか5秒で帳票作成

1. 事例概要

配筋検査は、検査帳票作成や検査用具準備、自主検査および段階確認など複数人で多くの時間を要するため、検査の精度維持と省人化・省力化の両立が長年の課題であった。このため、3 眼カメラを用いた配筋システムを開発し、国土交通省の「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」に2 度採択され、両者でA（社会実装の実現性が高い）と評価された。東北地方整備局発注の東根川橋上部工工事では、本システムが規格値を判定可能な精度を有することが認められ、発注者監督員の段階確認に全ての工種を通じて国内で初めて適用された。阪神高速道路株式会社の立会検査などにも採用されており、様々な発注者の工事に採用が拡大している。また、「第4 回日本オープンイノベーション大賞」で『国土交通大臣賞』を受賞するなど、「写らく」は各選考団体から高い評価を受けており、(株)カナモトを通じて全国でレンタル中である。

写真1 システム外観

写真2 「写らく」使用状況

下記URLまたは二次元コードよりご覧いただけます。
<https://www.nikkenren.com/doboku/seisansei/DXcase/>

